○ 11 月の人権に関する月間・週間・記念日「児童虐待防止推進月間」「女性に対する暴力をなくす運動（11/12 ～ 25)」「犯罪被害者週間（11/25 ～ 12/1」「鹿児島レッドリボン月間(11/16 ～ 12/15) 」

十島村教育委員会だより　令和元年10月号

むらやかたカラ情報

南北１６０km
「心をつなぎ　気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会
〒892-0822鹿児島市泉町13番13号
TEL　099-227-9771

10月・・・地域が育む「かごしまの教育」県民週間

十島村教育委員会
教育長　有村　孝一

県教育委員会は、学校・家庭・地域社会のより一層の連携と協力の下に、県民一人一人が鹿児島の教育について考える気運を高め、本県教育の充実と発展を図るという趣旨の下、地域が育む「かごしまの教育」県民週間を平成15年度から設定してきています。

そして、この週間に，保護者・地域住民の皆さんに学校の開放等の学校行事に参加していただき、これからの「かごしまの教育」を考えていただこうとするものです。そのために、県をはじめ，学校や市町村教育委員会は，関係団体等と連携を図り，積極的な広報活動等を展開しています。

期間は、毎年，11月1日から11月7日までとしていますが、（ただし，行事等の設定は，この週を含む前後3週間程度を目安とします。）県は、毎年この週間に向けて、ポスターの原画と標語を募集しています。

十島村からも原画や標語が応募されたところです。このたびその審査が行われ、ポスターの原画の部に応募していました、諏訪之瀬島小学校4年生の濱田千明さんが、見事最優秀賞となりました。

諏訪之瀬島小中学校は、平成30年全国緑化コンクールの学校環境緑化の部で、この6月に文部大臣賞を受賞しています。原画は、その花壇を学校のみんなで手入れをしている様子を描いたものです。画題が「みんなで育てた花たち　地域の皆さん　お出迎え」というものです。ポスターには、標語の部で最優秀になった「見に来てね　友だちいっぱい　夢いっぱい　みんなで作るわたしの学校」という作品も載っています。標語の部では、諏訪之瀬島中学校2年生豊田愛さんの「地域と学校で　夢を描く　未来を図」という作品が入選に入っています。

県教育委員会の表彰

このポスターは、期間中各学校はもちろん、県内のあちこちに掲示され、県民の皆さんに学校参観を呼び掛けることになります。10月22日は、県教育委員会から総務福利課長が諏訪之瀬島においでになり、島民の皆さんが見守る中二人に直接賞状を伝達していただきました。二人とも大変喜んでいました。

村民の皆さんもそれぞれの島の学校に遠慮なくお出かけください。子どもたちが皆さんのおいでをまっています。是非参観して子どもたちを励ましてください。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間
11月1日～7日は，学校へ行こう！
※ 各学校で、みなさんのお越しをお待ちしています。

おめでとうございます。

「来訪神　仮面・仮装の神々」悪石島のボゼ
第７０回南日本文化賞特別賞(南日本新聞社主催)に決まりました。贈呈式は，１１月１日（金）に鹿児島市の城山ホテル鹿児島で行われます。

令和元年度　鹿児島県学校環境緑化・学校林等活動コンクール
【学校環境緑化の部】
優良賞　　口之島小・中学校
　　諏訪之瀬島小中学校
　　宝島小・中学校

十島村では「あいさつ・花いっぱい運動」に各島で取り組んでいます。この取組の成果が今回の受賞へとつながっています。

日本教育公務員弘済会から青少年育成活動への助成として，本村の子ども会の活動に対して，50,000 円の助成金をいただきました。

ふだんから行っている清掃美化活動やリサイクル活動，伝統芸能の継承等が評価されたものです。

これからも，地域のために充実した活動に取り組んでください。

シリーズ　新聞に投稿
（令和元年９月１７日南日本新聞「若い目」掲載）
中之島中3年　藤谷　依風希

夢の実現に向けて

夏休みの最終日、私は進路を決める強い決心をもって高校のオープンキャンパスに参加した。

オープンキャンパスでは、学校内の地図をもってグループごとに指定されたコースを歩き、問題を解決していくゲーム式の見学をすることができた。

３校見学した中の１校が、今の私に一番向いているのではないかと感じた。その高校は一つの科にさまざまなコースがあり、今私が興味があることを多く学べそうだった。私は、人の夢を実現させられるような仕事をしたいと思っている。一番私の夢をかなえることができそうだと感じた。

２学期は、この高校を目指して勉強を頑張りたいと思う。夏休みで怠けてしまった分を取り返せるように頑張りたい。

シリーズ　新聞に投稿
（令和元年９月２３日南日本新聞「若い目」掲載）
悪石島小6年　片野田　楽

美しい未来への第一歩

私は悪石島のように、海や環境問題について考えることが好きだ。これは、そのためにはまず、身近な人たちが住む